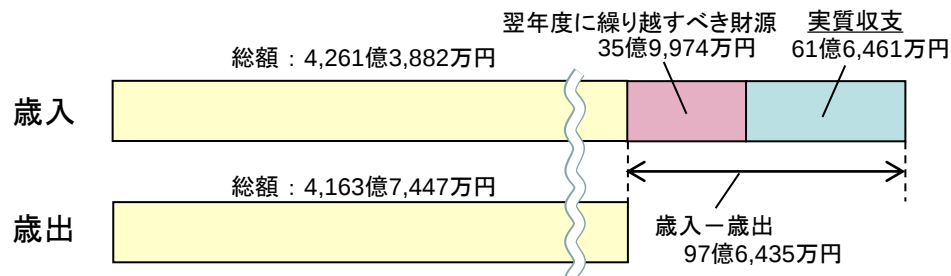


令和3年度 熊本市一般会計の決算について

I 一般会計の収支状況



【令和3年度決算の特徴】

- ▶ 決算規模は過去2番目
- ▶ 実質収支は増加

<参考> 過去の決算状況

	実質収支	歳出規模
R 2年度	50億7,716万円	4,444億4,502万円
R 1年度	62億 844万円	3,883億4,670万円
H30年度	59億7,723万円	3,779億8,752万円

III 熊本地震関連

2 熊本地震からの復旧復興：177億4,929万円※

(1) 被災者の生活再建に向けたトータルケア：71億437万円

宅地耐震化推進事業、仮設住宅入居者等ぐらし再建経費 外

(2) 防災・減災のまちづくり：77億6,587万円

西消防署耐震改修経費、防災情報伝達機能強化経費 外

(3) 熊本地震の記録と記憶の伝承：28億7,905万円

熊本城公開関連経費、震災復興発信強化経費 外

IV まちづくりの重点項目

3 「上質な生活都市」の実現：301億5,180万円※

(1) 安心して暮らせるまちづくり：146億1,975万円

① 誰もが安心して子育てできる環境の整備 教育の情報化推進経費 外

② 「おたがいさま」で支え合う地域コミュニティの形成 健康ポイント事業 外

(2) ずっと住みたいまちづくり：101億3,368万円

① 誰もが移動しやすく暮らしやすい都市づくり

バス交通運行効率化関係経費 外

② 雇用機会を創出し、熊本に住み、働ける環境の整備

地域スタートアップ等支援事業 外

(3) 訪れてみたいまちづくり：53億9,837万円

① 伝統文化とエンターテインメントが共鳴するにぎわいの創出

新たな日常に向けた首都圏プロモーション経費 外

② 自然と共生する恵み豊かな熊本の発信

くまもと脱炭素循環共生圏推進経費 外

4 その他の重点的な取組

(1) デジタル化の推進

新たな日常に向けたデジタル市役所推進経費、窓口改革推進経費 外

(2) 新市基本計画の推進：52億 809万円（※企業会計を含む投資的経費）

合併各町との「新市基本計画」の着実な推進

II 新型コロナウイルス感染症関連

1 感染防止と市民生活・地域経済の両立：438億 676万円

(1) 感染拡大を防止する：107億3,765万円

① 感染拡大防止対策 ② 医療提供体制の整備

新型コロナウイルスワクチン接種経費、新型コロナウイルス感染症対策経費 外

(2) 市民生活を守る：228億 332万円

① 正しい知識の普及啓発と人権擁護 ② 市民生活・健康の維持

③ 子どもたちの学びと心のサポート

子育て世帯や住民税非課税世帯等への臨時特別給付金給付事業 外

(3) 地域経済を再建する：88億3,448万円

① 中小企業・小規模企業等の事業継続 ② 雇用の維持と人材育成

③ 域内需要の循環 ④ 域外需要の取り込み

⑤ 「新しい生活様式」に対応した農水産業の振興 ⑥ 企業誘致と移住促進

営業時間短縮要請に伴う事業者支援経費、緊急家賃支援事業、

新型コロナウイルス対応融資利子補給事業 外

(4) 強靱な社会経済基盤を構築する：14億3,131万円

① 行政のデジタル化 ② スマートシティの実現 ③ 持続可能なまちへの転換

庁内ネットワーク整備経費、バス路線・鉄道・フェリー航路維持緊急支援経費 外